

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第1区分  
 【発行日】平成25年1月31日(2013.1.31)

【公開番号】特開2011-149901(P2011-149901A)  
 【公開日】平成23年8月4日(2011.8.4)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-031  
 【出願番号】特願2010-13170(P2010-13170)  
 【国際特許分類】

G 0 1 J 1/42 (2006.01)  
 G 0 1 J 1/02 (2006.01)  
 A 6 1 B 5/107 (2006.01)  
 A 6 1 B 5/1455 (2006.01)  
 H 0 1 L 31/02 (2006.01)  
 H 0 1 L 27/146 (2006.01)  
 H 0 1 L 27/14 (2006.01)  
 H 0 1 L 27/144 (2006.01)  
 H 0 4 N 5/225 (2006.01)  
 A 6 1 B 5/00 (2006.01)  
 A 6 1 B 1/00 (2006.01)

## 【F I】

G 0 1 J 1/42 A  
 G 0 1 J 1/02 B  
 G 0 1 J 1/42 Q  
 A 6 1 B 5/10 3 0 0 Q  
 A 6 1 B 5/14 3 2 2  
 H 0 1 L 31/02 A  
 H 0 1 L 27/14 A  
 H 0 1 L 27/14 D  
 H 0 1 L 27/14 K  
 H 0 4 N 5/225 Z  
 A 6 1 B 5/00 M  
 A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

## 【手続補正書】

【提出日】平成24年12月12日(2012.12.12)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

バックライトを備えた表示部と、生体情報測定センサと、前記測定センサによる測定と前記バックライトの点灯および消灯を連携させる制御部とを有するモバイル装置。

【請求項2】

前記制御部は、前記生体情報測定センサにより測定を行なうときは対象物となる生体を照明するために前記バックライトを点灯させることを特徴とする請求項1記載のモバイル装置。

【請求項3】

前記光電変換部が対象物に近接しているかどうかを検知する近接検知部を有し、前記制御部は、前記近接検知部が対象物となる生体の近接を検知すると前記バックライトを点灯させることを特徴とする請求項 2 記載のモバイル装置。

**【請求項 4】**

前記生体情報測定センサによる測定のための光源部を有し、前記制御部は前記光源部を用いて前記生体情報測定センサによる測定を行なうとき前記バックライトを消灯させることを特徴とする請求項 1 記載のモバイル装置。

**【請求項 5】**

前記光電変換部が対象物に近接しているかどうかを検知する近接検知部を有し、前記制御部は、前記近接検知部が対象物となる生体の近接を検知すると前記光源部を点灯させるとともに前記バックライトを消灯させることを特徴とする請求項 4 記載のモバイル装置。

**【請求項 6】**

前記表示部は、前記生体情報測定センサが取得した生体情報を表示することを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれかに記載のモバイル装置。

**【請求項 7】**

前記生体情報測定センサは、肌水分、親指の静脈パターン、脈波、血中酸素飽和度の少なくとも 1 つであることを特徴とする請求項 1 から 6 にいずれかに記載のモバイル装置。